

令和5年度第2回健康創造都市 KOBE 推進会議総会 次第

令和6年1月22日(月) 11時～12時

オフライン会場：明治安田生命神戸ビル4階会議室

オンライン開催：Zoom

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 第1回健康創造都市 KOBE 推進会議総会以降の取組み等 (10分) 【資料1】

(2) 次年度から実施するプロジェクト案 (20分：4プロジェクト×5分)

① 「『神戸メソッド』の開発プロジェクト」【資料2】

テンピュール・シーリー・ジャパン有限会社×サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社

② 「電子お薬手帳を用いた健康経営プロジェクト～介護業界編～」【資料3】

harmo 株式会社

③ 「アイアンワーカープロジェクト」【資料4】

田辺三菱製薬株式会社 ×日本スポーツサポート機構

④ 「健康から始まらない健康企画プロジェクト」【資料5】

株式会社W

(3) プロジェクト案についての意見交換 (10分)

(4) 今後の本会議の運営方針 (10分) 【資料6】

3. 閉 会

(配布資料)

資料1 第1回健康創造都市 KOBE 推進会議総会以降の取組み等

資料2 プロジェクト①「『神戸メソッド』の開発プロジェクト」

資料3 プロジェクト②「電子お薬手帳を用いた健康経営プロジェクト～介護業界編～」

資料4 プロジェクト③「アイアンワーカープロジェクト」

資料5 プロジェクト④「健康から始まらない健康企画プロジェクト」

資料6 今後の本会議の運営方針

参考資料 健康創造都市 KOBE 推進会議 参画企業・団体

【資料1】

第1回健康創造都市KOBÉ 推進会議総会以降の取組み等

目次

- ① 第1回総会の振り返り
- ② アンケート調査結果
- ③ ワークショップ実施報告
- ④ プロジェクト案

① 第1回総会の振り返り

背景

- 神戸経済同友会からの提言を踏まえ、全ての市民が健康になるまち「健康創造都市KOBE」を目指し、活発な議論、提案を行い、実践につなげていくため「健康創造都市KOBE推進会議」を2017年7月に設立
- 本市より設立当初の時代背景に応じた5つの検討項目（短期目標）を提示させていただき、これまでの6年間、こうべ健康経営会議やMCKをはじめ、各部会でそれぞれの検討項目に応じた取り組みを実施していただいた
- 次のステージへ歩みを進めようとしていた矢先に、コロナ禍で交流の機会が減少し、活動の停滞や推進会議の形骸化が余儀なくされた
- コロナの5類感染症への移行、また「健康日本21（第3次）」で国から新たな方向性が示されたこの機会に改めて「健康創造都市KOBE推進会議」を次のステージへ進め、活性化していきたい
- 参画団体が同じ目標を持って活動を進めていくため、改めて相互理解を深めるとともに、「健康創造都市KOBE推進会議」の長期目標（ビジョン）に向けた具体的な活動を生み出したい

① 第1回総会の振り返り

神戸市からの 提案

- ・ 神戸市の現在の健康課題や国の「健康日本21（第3次）」に基づき、検討項目を統合・再編する。
- ・ 統合・再編にあたっては、項目数を絞るとともに、3か年計画とし、重点的に取り組む。
- ・ 具体的に取り組むにあたっては、部会の枠を越えたワークショップを開催し、検討項目に沿ってプロジェクトの再編および新規プロジェクトの立ち上げを行う。

① 第1回総会の振り返り

健康日本21（第三次）で示された方向性

- ・ 健康日本21（第二次）の評価：生活習慣・危険因子の悪化・停滞（栄養・食生活や身体活動・運動、飲酒など）
- ・ 新たな視点：誰一人取り残さない健康づくり
多様な主体を巻き込んだ健康づくり（健康経営）
自然に健康になれる環境整備づくり
女性の健康



検討項目（短期目標）の統合・再編案

- ① 健康経営の推進
- ② 健康に関心が薄い者を含め自然に健康になれる環境づくりの推進

① 第1回総会の振り返り

長期目標 = ビジョン

誰もが健康になれるまち

中期目標 = ミッション

①健康寿命の延伸、②健康格差の縮小、
③個人の健康づくり活動と企業の健康経営を通じた市内経済の活性化

検討項目 = 短期目標 (現状)

妊娠期から高齢期までの生活習慣の改善
あど生涯にわたる健康づくり

人生の最終段階における本人の尊厳及び
意思を踏まえた生き方

都市環境や地域資源を活かした健康づくり
及び健康格差の縮小の取組み

個人の健康増進のインセンティブ及び
企業の健康経営、職場環境づくり

市内経済の活性化につながる健康ポイントの検討

短期目標 (検討項目) の見直し

検討項目 = 短期目標 (見直し案)

①健康経営の推進

②健康に関心の薄い人を含め誰もが無理なく健康になれる環境づくりの推進

プロジェクト

プロジェクト

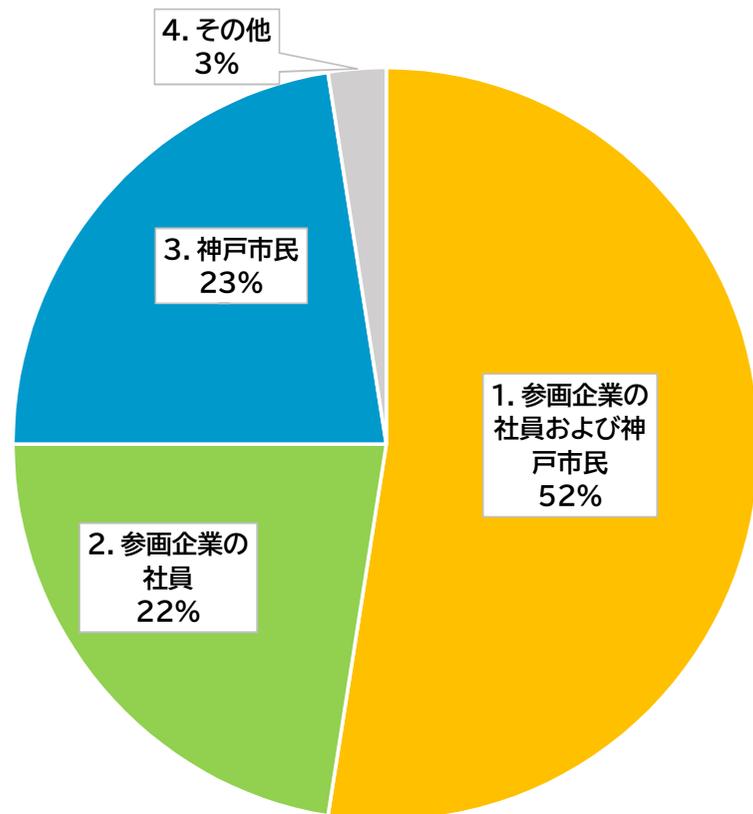
プロジェクト

プロジェクト

目標実現に向けて動くプロジェクトの立ち上げ

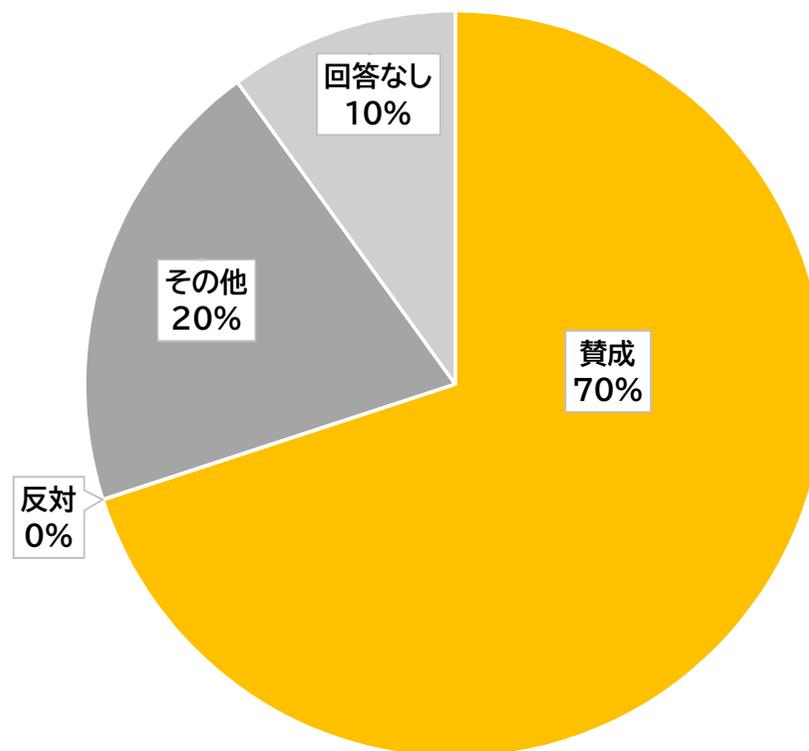
② アンケート調査結果

① 今後、検討項目およびプロジェクトを再編するにあたり、誰をターゲットとすべきとお考えですか。



参画企業の社員および社員と神戸市民の両方を対象とする回答が多数

② 神戸市より提案した今後の健康創造都市KOBE 推進会議の方向性等について



神戸市から提案した内容には、おおむね賛成

③ ワークショップ実施報告

ワークショップ① (10/25)

参画団体・企業がもつリソースを開示し、プロジェクト内容についてアイデアを出し合った。また、2回目WSでプロジェクトを発表するプロジェクトリーダーを決定した。



目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を示す「ロジックモデル」を活用しました。

ワークショップ② (12/13)

プロジェクトリーダーから、プロジェクト案を発表。賛同する方々とブレインストーミングを行い、より具体的なプロジェクト内容の検討を行った。



④ プロジェクト案

1 KOBEメソッドの開発プロジェクト

プロジェクトリーダー：テンピュール・シーラー・ジャパン有限会社

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社

2 電子お薬手帳を用いた健康経営プロジェクト～介護業界編～

プロジェクトリーダー：harmo株式会社

3 アイアンワーカープロジェクト

プロジェクトリーダー：田辺三菱製薬株式会社、日本スポーツサポート機構

4 健康から始まらない健康企画プロジェクト

プロジェクトリーダー：株式会社W

「神戸メソッド」の開発プロジェクト ビジネスモデル案

【資料2-1】

神戸市・参画企業・企業社員が三位一体で、それぞれに
ベネフィットをもたらす持続可能なフレームワーク

参画企業

参画ブランド、商品、サービスの訴求

- ・睡眠・食事・運動、メンタルヘルスなどの健康に付随する多岐企業と共に商品やサービスの提供
- ・異業種交流による、神戸市ゆかり、地場企業の相乗効果と活性化

企業の垣根を超え、健康に関するエビデンスの創出

- ・健康ソリューションプロバイダーが保有する健康商品、サービス、行動の組み合わせによる実証

ライフスタイル改善 インセンティブプラットフォーム

日常生活における睡眠、運動、食事、メンタルを計測。クリアした際には、ポイント付与
例)スリープボーナス
エクササイズボーナス など



企業社員

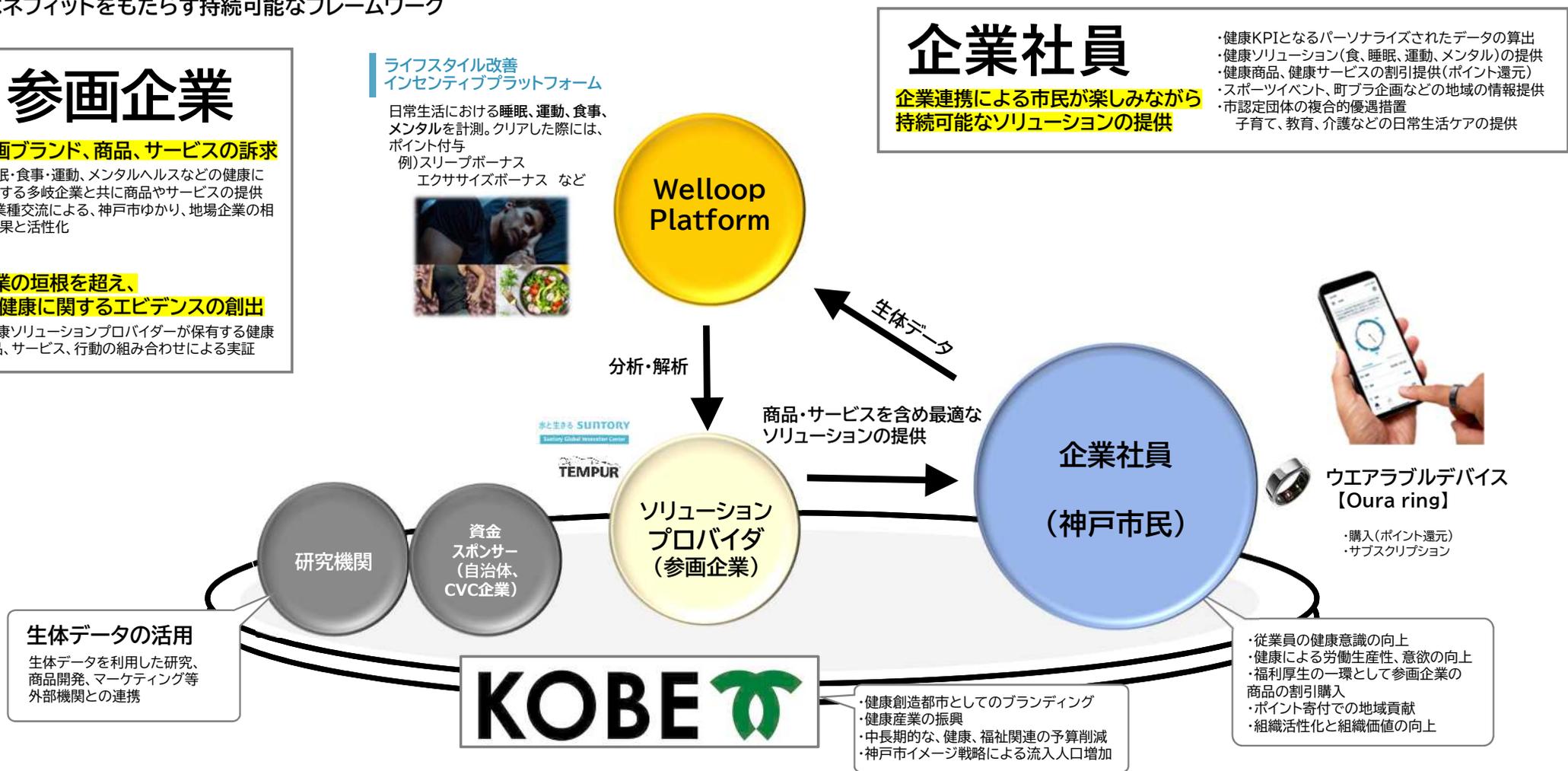
企業連携による市民が楽しみながら 持続可能なソリューションの提供

- ・健康KPIとなるパーソナライズされたデータの算出
- ・健康ソリューション(食、睡眠、運動、メンタル)の提供
- ・健康商品、健康サービスの割引提供(ポイント還元)
- ・スポーツイベント、町プラ企画などの地域の情報提供
- ・市認定団体の複合的優遇措置
- ・子育て、教育、介護などの日常生活ケアの提供



ウェアラブルデバイス 【Oura ring】

- ・購入(ポイント還元)
- ・サブスクリプション



生体データの活用
生体データを利用した研究、商品開発、マーケティング等外部機関との連携

KOBE

- ・健康創造都市としてのブランディング
- ・健康産業の振興
- ・中長期的な、健康、福祉関連の予算削減
- ・神戸市イメージ戦略による流入人口増加

- ・従業員の健康意識の向上
- ・健康による労働生産性、意欲の向上
- ・福利厚生の一環として参画企業の商品の割引購入
- ・ポイント寄付での地域貢献
- ・組織活性化と組織価値の向上

健康創造都市KOBEプロジェクトシート

【資料2-2】

<p>プロジェクト タイトル</p>	<p>「神戸メソッド」の開発プロジェクト</p>	<p>チームメンバー (代表に☆)</p>	<p>テンピュール 菅沼・吉田 サントリー 水谷</p>																																				
<p>プロジェクトの短期目標</p>		<p>解決したい課題は誰のどんな課題か</p>																																					
<p>● 初期成果の指標 ● 目標値 ● 評価タイミング</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">検 討 中</p>		<p>● 働く世代の運動や栄養などの生活習慣および睡眠の質に関する課題（ライフスタイルの見直しによる改善）</p>																																					
<p>各社の実施内容・役割分担</p>		<p>各社の参加する意義・メリット</p>																																					
<p>● テンピュール：協力企業・研究機関との折衝・ブランディング ● サントリー：アプリとデバイスを中心としたシステム設計と推進</p>		<p>● 健康経営の推進 ● 福利厚生充実 ● 各企業の商品/サービスの訴求</p>																																					
<p>神戸市に協力してほしいこと</p>		<p>プロジェクト阻害要因・想定されるリスクと対策</p>																																					
<p>● デバイス/アプリの普及 ● 臨床テスト参加者（モニター）への謝礼 ● プロスポーツ・チームの招聘</p>		<p>● 試験計画・同意書などプロジェクト全体の倫理審査 →法務専門家と検証</p>																																					
<p>全体スケジュール ※半年ごとに進捗報告の場を用意する予定</p>																																							
	<p>2023年度</p>			<p>2024年度</p>												<p>2025年度</p>												<p>2026年度</p>											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	試験内容の検証	企業との折衝開始	試験計画の策定	研究機関の選定	健康経営 アライアンス設立	企業の商品/サービスの選定	特別販売開始 アライアンス内																																

電子お薬手帳を用いた健康経営プロジェクト～介護業界編～ ビジネススキーム

【資料3-1】

健康経営領域

①従業員健康状態の把握

- ・健診データ・ストレスチェックデータ
 - ・harmoおくすり手帳(服薬)データ
 - ・その他アンケート など
- 心身の健康状態を正しく把握、取得したデータから最適なサポートを検討

②従業員個々に合わせた

健康ソリューションの提案・提供

従業員が自ら探しに行くのではなく、個々人の状態に合わせたサービスをharmoが提案することで、受け身の方においても改善・継続が出来る状態を目指す

③健康ソリューションサービスの利用

提案されたサービスから好みのものを選択し、申込・利用

④1クール終了後・チェック分析

改めて健康状態を把握することにより、さら最適化されたサービス提供が可能となることで、離職の抑制ならびに採用促進を図る

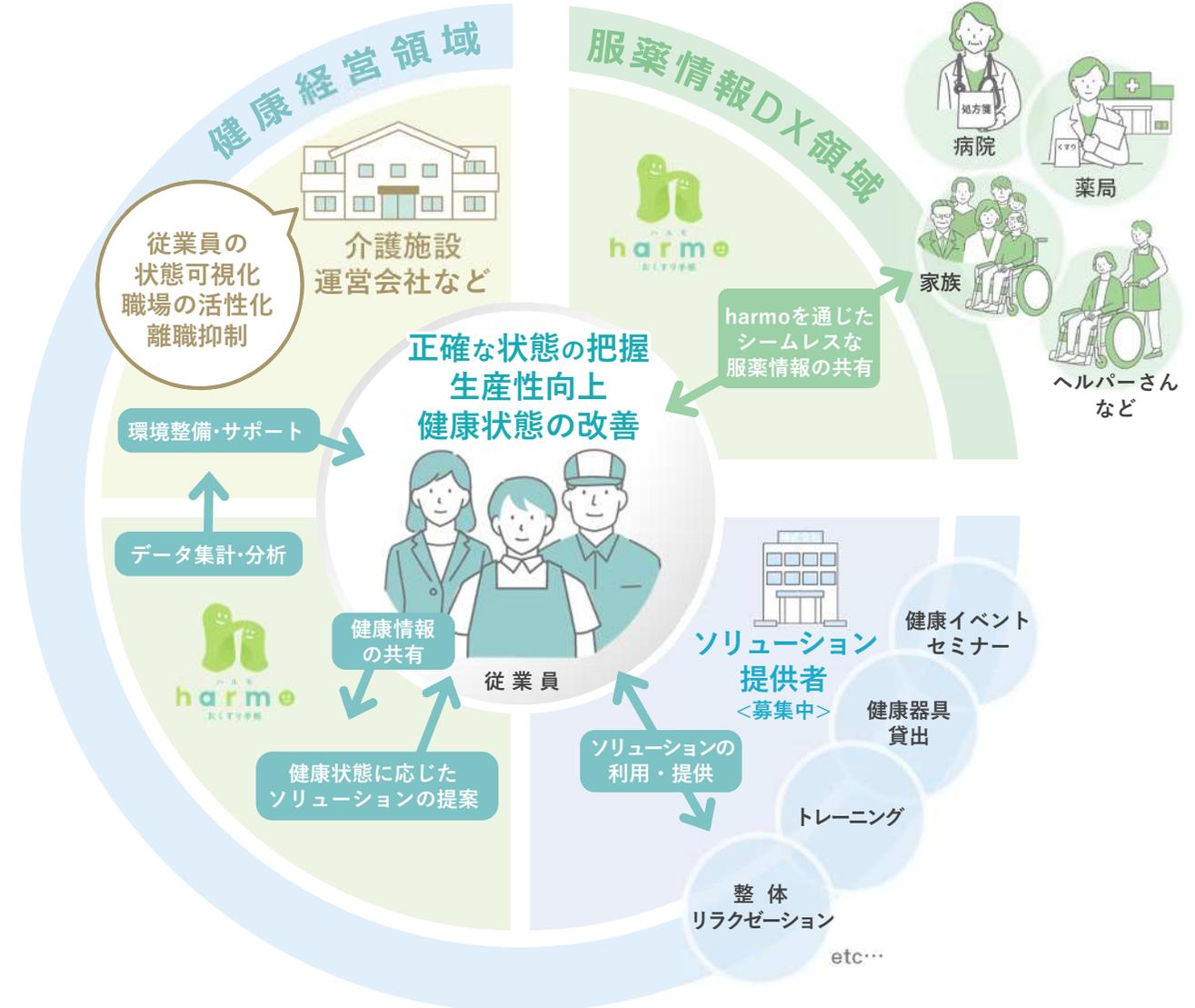
服薬情報DX領域

<介護>

- ①入居者にharmo利用を促進
- ②スマホで処方薬情報の関係者へ自動連携
- ③薬剤管理業務、連絡業務の工数削減

<運輸>

- ①治療継続による病気進行の抑制
- ②影響を及ぼす薬剤、服用方法の回避



健康創造都市KOBEプロジェクトシート

【資料3-2】

プロジェクト タイトル	電子お薬手帳を用いた健康経営プロジェクト ～介護業界編～	チームメンバー (代表に☆)	☆harmo(株)、ロングライフHD、神戸市薬剤師会、明治安田生命、ZeroRealize
------------------------	---------------------------------	---------------------------	---

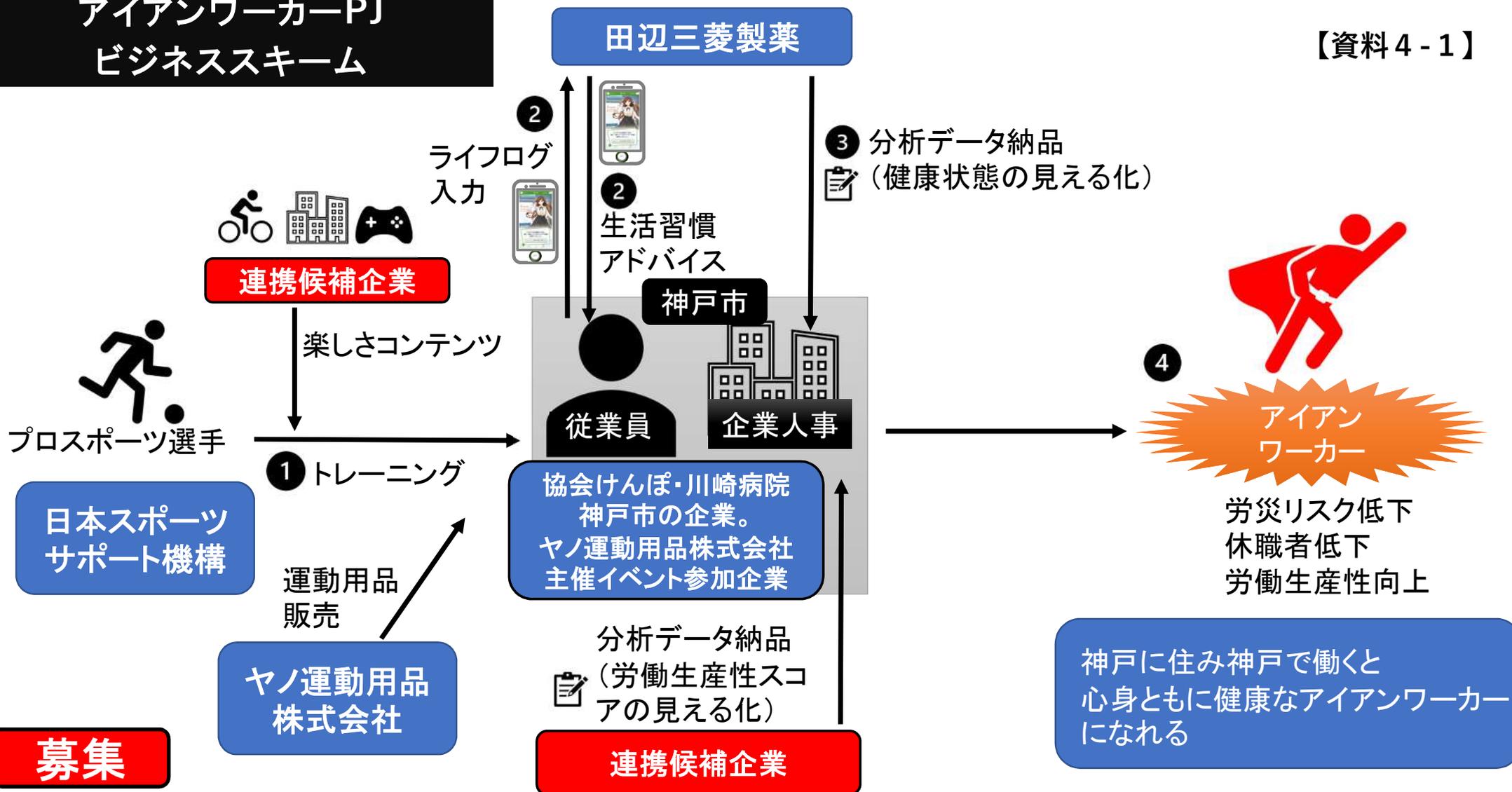
プロジェクトの短期目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期成果の指標：労働生産性（WPAI）、ワークエンゲージメント、従業員健康実感の改善率 ● 目標値：それぞれ約10～20%改善 ● 評価タイミング：実証実験開始から半年毎にトラッキング 	解決したい課題は誰のどんな課題か	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護施設従業員 <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の服薬管理において、親族への連絡など複数の業務が発生している ・介護業務による心身の疲労 ● 介護施設運営者 <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の離職、採用困難
各社の実施内容・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ● harmo：電子お薬手帳システム提供、健康経営サービスの運営サポート ● ロングライフHD：実証実験フィールドとなる介護施設 ● 神戸市薬剤師会：介護施設門前薬局での取り組みサポート ● 明治安田生命：健康経営関連サポート ● ZeroRealize：整体サービスの提供 	各社の参加する意義・メリット	<ul style="list-style-type: none"> ● harmo：電子お薬手帳の普及、健康経営サービスの知見獲得 ● ロングライフHD：施設DX化、従業員の心身状態改善、業務効率化、入居者の満足度向上 ● 神戸市薬剤師会：薬局外フィールドでの職能発揮による市民貢献 ● 明治安田生命：新たな健康経営参入切り口の開拓 ● ZeroRealize：新規顧客チャネルの獲得
神戸市に協力してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政支援 <ul style="list-style-type: none"> ・該当する助成金や補助金の探索と申請サポート ● 地域連携のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・医師、薬剤師、従業員、入居者、入居者親族へのご説明サポート 	プロジェクト阻害要因・想定されるリスクと対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 医師、薬剤師のDX化への理解 <ul style="list-style-type: none"> ・当取り組みによる医療機関側のメリットを訴求 ● 介護施設従業員のPJT不参加・健康ソリューションの不足 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトに参加いただくことによるメリットを健康ソリューションなどインセンティブで説得、ソリューションベンダー様の募集

全体スケジュール ※半年ごとに進捗報告の場を用意する予定

	2023年度			2024年度												2025年度												2026年度																										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3															
PJTチームの確定																																																						
実証実験の準備																																																						
実証実験開始																																																						
初回アンケート																																																						
効果検証アンケート①																																																						
効果検証アンケート②																																																						
改善PJT案の検討																																																						
次年度PJTチーム検討																																																						
次年度PJTの準備・開始																																																						

アイアンワーカーPJ ビジネススキーム

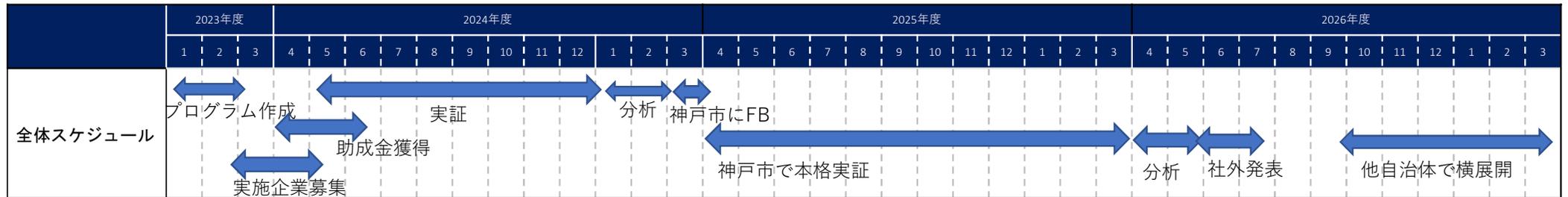
【資料4-1】



アイアンワーカープロジェクト
～神戸市の働く世代の精神と肉体を同時に強化する～

プロジェクト タイトル	アイアンワーカーPJ	チームメンバー (代表に☆)	田辺三菱製薬：☆岸田、眞部、松本 日本スポーツサポート機構：長野
----------------	------------	-------------------	-------------------------------------

プロジェクトの短期目標	解決したい課題は誰のどんな課題か
<ul style="list-style-type: none"> ● 初期成果の指標：WHO-HPQ・TOMOCO入カログ・オリジナルメンタルスコア、体重2kg、腹囲2cm改善率（保健指導対象者） ● 目標値：スコア改善者50%以上、参加者の30%以上 ● 評価タイミング：トレーニング開始3か月後 	<p><u>企業</u>：メンタルシック防止。休職者低下。労災リスク軽減。労働生産性向上。生活習慣改善による医療費削減。</p> <p><u>従業員</u>：ストレス解消。健康増進。職場活性化。</p> <p>楽しみながら健康になり、社内のコミュニケーションも促進され、より良い職場環境になる。</p>
各社の実施内容・役割分担	各社の参加する意義・メリット
<ul style="list-style-type: none"> ・ 田辺三菱製薬：生活習慣改善支援としてTOMOCOアプリの提供 ・ 日本スポーツサポート機構：アスリート式トレーニングにより、従業員のストレス解消とコミュニケーションUP ・ 川崎病院、協会けんぽ：実施フィールド 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供側：サービス価値向上と実績構築 ・ 参加企業：従業員の成長実感。各種健康指標の改善による労働生産性向上
神戸市に協力してほしいこと	プロジェクト阻害要因・想定されるリスクと対策
<ul style="list-style-type: none"> ● 実施可能な神戸市の企業提供 ● 神戸市職員での実施 ● 健康イベントへの出展 ● 神戸市の助成金の取り方、リスト 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業側の健康指標との相違 ● 企業側のニーズに対応可能なKPIの分析と納品



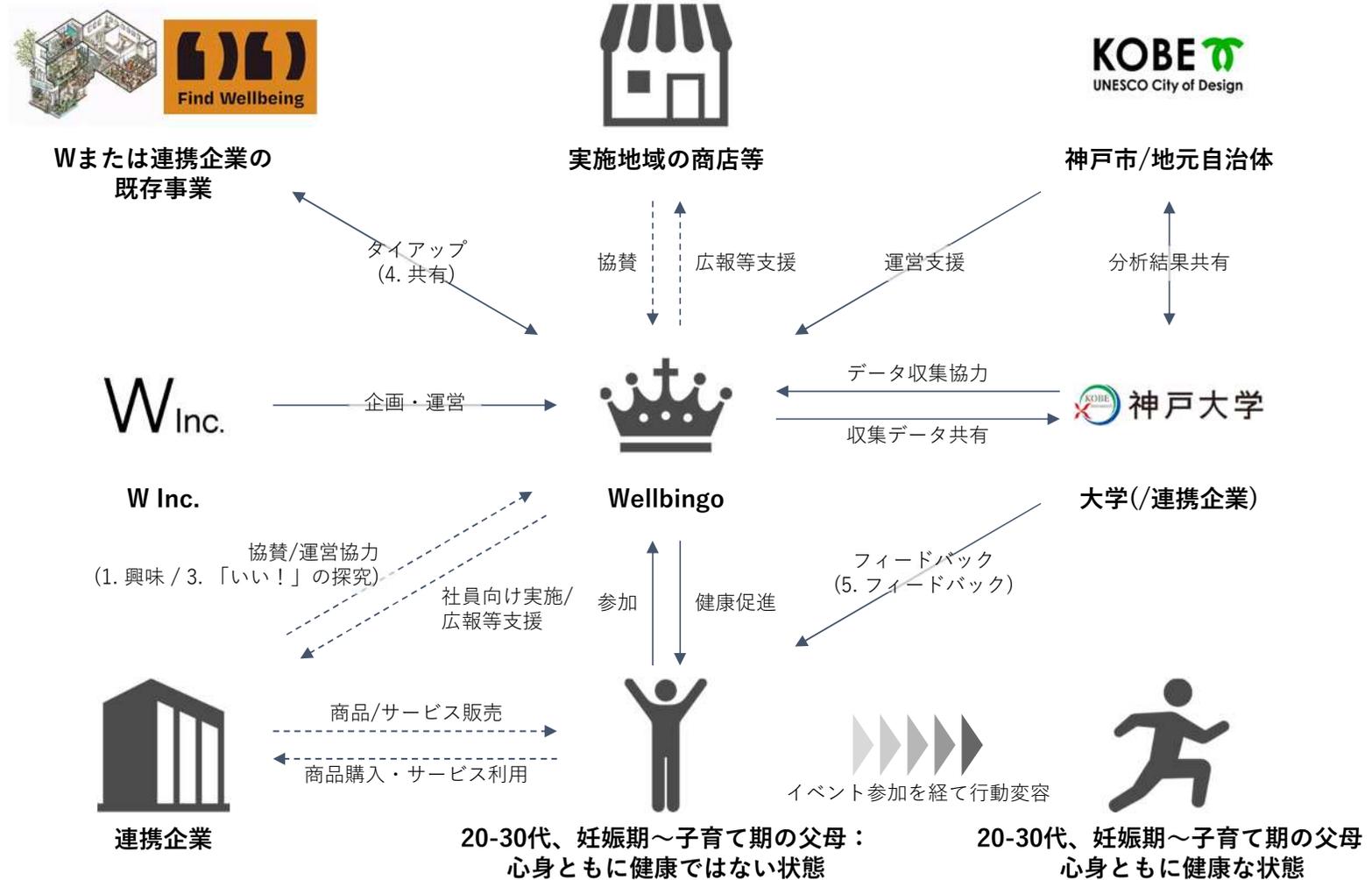
「健康から始まらない健康企画プロジェクト #1 Wellbingo」 ビジネススキーム

← 最低限必要
 ←--- あると良い

【資料 5 - 1】

【イベントの流れ】

1. 興味
 - イベントの開催を知り、興味を持つフェーズ。
2. 登録
 - イベントへの参加登録を行うフェーズ。ビンゴ用紙の配布や事前の健康状態測定など。
3. 「いい！」の探究(肉体的健康↑)
 - 日常生活の中で見つけた Well-beingを記録するフェーズ。
4. 共有(精神的健康↑)
 - SNSへの投稿や対面での交流を通して、互いの体験を共有するフェーズ。
 - 利用可能：「いい！」メディア、Incubation Studio SOWELU(コワーキングスペース)
5. フィードバック
 - 参加率に応じた景品の贈呈(案)や、イベント期間中の健康活動に対するフィードバックを行うフェーズ。



今後の本会議の運営方針

目次

- ① ビジョン等の共有及び2部会の統合・再編
- ② 交流会「meet up！」の開催（年2～3回）
- ③ 総会開催時期の変更（夏→1月開催へ）
- ④ ホームページの刷新
- ⑤ プロジェクト期間等

① ビジョン等の共有及び2部会の統合・再編

現状

ビジョン(長期目標)

誰もが健康になれるまち

ミッション(中長期目標)

- ①健康寿命の延伸 ②健康格差の縮小
- ③個人の健康づくり活動と企業の健康経営を通じた市内経済の活性化

検討項目(短期目標)

妊娠期から高齢期までの生活習慣の改善など生涯にわたる健康づくり

人生の最終段階における本人の尊厳及び意思を踏まえた生き方

都市環境や地域資源を活かした健康づくり及び健康格差の縮小の取組み

個人の健康増進のインセンティブ及び企業の健康経営、職場環境づくり

市内経済の活性化につながる健康ポイントの検討

健康経営部会

コンテンツ部会

今後

ミッション・パーパス

(使命・存在意義)

誰もが健康になれるまち

ビジョン(目指す姿)

- ①健康寿命の延伸 ②健康格差の縮小
- ③個人の健康づくり活動と企業の健康経営を通じた市内経済の活性化

マテリアリティ(重要課題)

①健康経営の推進

②健康に関心の薄い人を含め誰もが無理なく健康になれる環境づくりの推進

これまでの部会の枠を超えた全ての参画団体が参加できるオープンなプロジェクト！

2024年度は4つのプロジェクトが始動！

成果指標・目標値

プロジェクト

成果指標・目標値

プロジェクト

成果指標・目標値

プロジェクト

成果指標・目標値

プロジェクト

② 交流会「meet up！」の開催（年2～3回）

内容：プロジェクトの相談、プロジェクトの効果検証等

時期：プロジェクトリーダーと相談の上、決定

ロジ：「meet up!」事務局

（2024年度は(株)アシックス様、江崎グリコ(株)様、日本イーライリリー(株)様、明治安田生命(相)様）

③ 総会開催時期の変更（夏→1月開催へ）

総会にて、当該年度のプロジェクトの実施報告等を行う

④ ホームページの刷新

1. 分かりやすくビジョン等を明示
2. 新規プロジェクトのページを作成
 - ・プロジェクト概要（企画書やロジックモデル等）の掲載
 - ・進捗状況やプロジェクトの成果等を発信
 - ・参画企業・団体の随時募集（実証フィールドの提供等）

⑤ プロジェクト期間等

1. 第1期プロジェクト期間は2024年度～2026年度
2. 期中でのプロジェクトの立ち上げ希望があった場合は「meet up!」の場にて検討を行う
3. 毎プロジェクト期間の最終年度にWSを開催し、プロジェクトの最終効果検証を行った後、継続・見直し・新規立ち上げ等を検討する

皆さま
プロジェクトへの積極的なご参加を
よろしくお願ひします！



令和5年度第2回健康創造都市KOBÉ推進会議「総会」参加者名簿

※敬称略

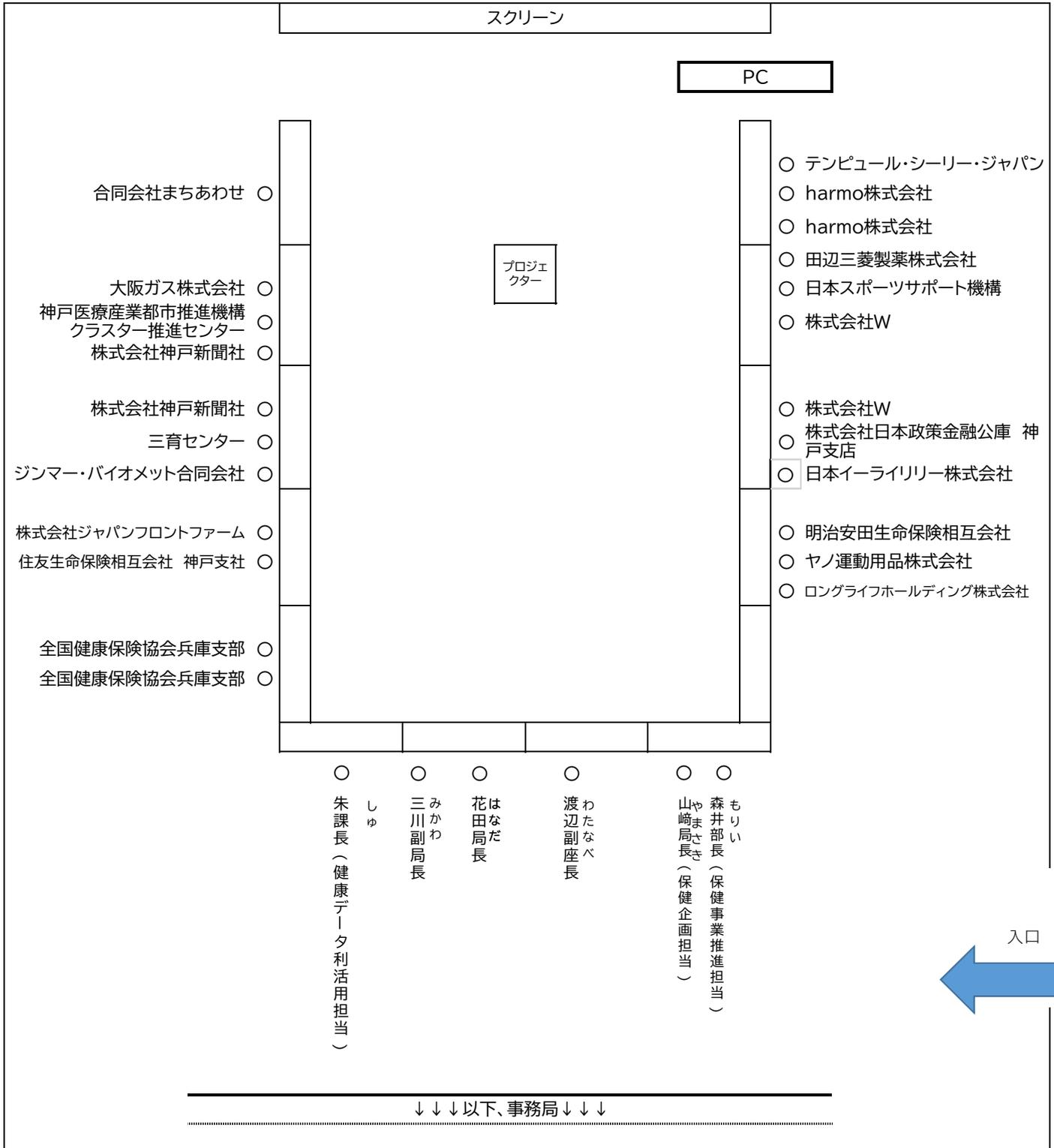
会場参加			
	企業・団体名	役職	出席者名
1	神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科・エッセンシャルヘルスケア科学講座	特命教授	渡辺 恭良 副座長
2	大阪ガス株式会社	地域共創第二チームマネジャー 兼 支配人補佐	才目 敏充
3	神戸医療産業都市推進機構クラスター推進センター	コーディネーター	石田 香織
4	株式会社神戸新聞社	事業局次長	岡本
5	株式会社神戸新聞社		石本 弘子
6	三育センター	科長	伊々田 篤
7	ジンマー・バイオメット合同会社	ディレクター ガバメントアフェアーズ	河合 誠雄
8	株式会社ジャパンフロントファーム	代表取締役	前田 隆博
9	住友生命保険相互会社 神戸支社	営業推進担当部長	五島 万由実
10	全国健康保険協会兵庫支部	企画総務部長	市本 恵三
11	全国健康保険協会兵庫支部	企画グループ長	潟淵 洋生
12	田辺三菱製薬株式会社	主幹	岸田 謙次
13	株式会社W	代表取締役社長	廣岡 大亮
14	株式会社W		中川 貴文
15	テンビュール・シーリー・ジャパン有限公司		吉田 真一郎
16	株式会社日本政策金融公庫 神戸支店	中小企業事業 総括課長	山本 知宏
17	日本イーライリリー株式会社	コーポレート・アフェアーズ本部 広報課長	川副 祐樹
18	一般社団法人日本スポーツサポート機構		長野 憲次
19	harmo株式会社		佐々木 靖彦
20	harmo株式会社		田中 弦太郎
21	合同会社まちあわせ	代表社員	尾谷 伸也
22	明治安田生命保険相互会社 神戸支社	市場統括部長	山本 哲也
23	テノ運動用品株式会社	代表取締役	矢野 克幸
24	ロングライフホールディング株式会社	GFCラボ 所長	譲原 一馬

オンライン参加			
	企業・団体名	役職	出席者名
1	アクサ生命保険株式会社	HPMビジネスエキスパート	足立 愛
2	株式会社アシックス	秘書部渉外チーム	山川 惇生
3	味の素株式会社	主任	岩井 万智子
4	江崎グリコ株式会社	マネージャー	古屋敷 隆
5	川崎重工工業株式会社	人事本部 安全保健部 保健衛生課 課長	森 昭彦
6	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構	クラスター推進センター ヘルスケアグループ グループリーダー / シニア	松原 正
7	神戸学院大学	リーダー	黒野 秀晃
8	神戸市企画調整局医療産業都市部推進課	係長	田中 淳也
9	一般社団法人神戸市薬剤師会	会長	安田 理恵子
10	神戸商工会議所	産業部	宮崎 哲
11	神戸新聞社	メディアビジネス局長	菅本 史朗
12	神戸大学医学部附属病院（兵庫県栄養士会）	栄養管理室 副部長	山本 育子
13	株式会社神戸ポートピアホテル	総支配人室 営業企画 チームリーダー	山口 萌
14	株式会社J-オイルミルズ	西日本営業推進グループ長	山本 正則
15	田辺三菱製薬株式会社		松本 英哲
16	WHO神戸センター	テクニカルオフィサー	ローゼンバーク・恵美
17	harmo株式会社		佐野 洋介
18	公益社団法人兵庫県看護協会	専務理事	西口 久代
19	公益財団法人兵庫県予防医学協会	常務理事	衣川 彰
20	三菱商事株式会社	ヘルスケア部 予防・ウェルネスプロジェクト 事業開発マネージャー	小林 隆
21	株式会社リンクアンドコミュニケーション	最高医学責任者	三木 竜介
22	株式会社ロック・フィールド	秘書室広報グループ長	天野 勝

令和5年度第2回健康創造都市KOBЕ推進会議 総会 レイアウト

日時: 令和6年1月22日(月)11時~12時

会場: 明治安田生命神戸ビル4階会議室



健康創造都市KOBÉ推進会議 参画企業・団体（令和6年1月22日現在）			
1	アクサ生命保険株式会社	64	学校法人 玉田学園神戸常盤大学
2	株式会社アシックス	65	ためま株式会社
3	味の素株式会社 大阪支社	66	株式会社 千雅
4	株式会社Aikomi	67	月の友株式会社
5	株式会社イガクリ	68	株式会社ディーエイチシー
6	株式会社 伊藤園（関西営業推進部1課）	69	テンビュール・シーラー・ジャパン有限公司
7	株式会社ウエルネスサプライ	70	TOA株式会社
8	江崎グリコ株式会社	71	東京医科大学
9	大阪ガス株式会社	72	株式会社ドクターミール
10	株式会社オーグースポーツ	73	株式会社ドコモCS関西 神戸支店
11	大塚製薬株式会社	74	株式会社トータルブレインケア
12	川崎重工工業株式会社	75	凸版印刷株式会社 西日本事業本部 関西情報コミュニケーション事業部
13	関西電力送配電株式会社 兵庫支社	76	株式会社ドリナビ
14	全国健康保険協会（協会けんぽ） 兵庫支部	77	西日本電信電話株式会社 兵庫支店
15	国立大学法人 京都大学大学院 医学研究科社会疫学分野	78	日本イーライリリー株式会社
16	CareMates KK	79	日本ストライカー株式会社
17	健康保険組合連合会 兵庫連合会	80	株式会社日本政策金融公庫 神戸支店
18	神戸医療産業都市推進機構	81	日本メドトロニック株式会社
19	株式会社神戸ウエルネスサポート	82	一般社団法人 日本老年学的評価研究機構
20	学校法人神戸学院 神戸学院大学	83	ネスレ日本株式会社
21	一般社団法人 神戸経済同友会	84	株式会社パソナ
22	株式会社ベネスト	85	harmo株式会社
23	株式会社 神戸デジタル・ラボ	86	阪急阪神ホールディングス株式会社
24	和田興産株式会社	87	バンドー化学株式会社
25	一般社団法人 神戸市医師会	88	公益財団法人ひと・健康・未来研究財団
26	神戸市看護大学	89	公益社団法人 兵庫県栄養士会
27	公益財団法人 神戸市産業振興財団	90	公益社団法人 兵庫県看護協会
28	公益社団法人 神戸市歯科医師会	91	公益財団法人 兵庫県予防医学協会
29	神戸市職員共済組合	92	株式会社フィッシングマックス
30	公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会	93	株式会社フェリシモ
31	一般社団法人 神戸市薬剤師会	94	フジッコ株式会社
32	Creative Service Kingdom株式会社	95	フロム・シェフ株式会社
33	神戸商工会議所	96	株式会社ヘルスプロモーション
34	神戸女子大学	97	合同会社まちはわせ
35	株式会社神戸新聞社	98	株式会社マルヤナギ小倉屋
36	株式会社神戸製鋼所 神戸本社	99	三井住友海上火災保険株式会社
37	国立大学法人 神戸大学大学院医学研究科	100	株式会社三井住友銀行
38	株式会社神戸ポートピアホテル	101	三菱商事株式会社
39	学校法人 神戸薬科大学	102	明治安田生命保険相互会社 神戸支社
40	認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸	103	株式会社Moff
41	三育センター	104	森永乳業株式会社 西日本支社 大阪支店神戸支店
42	株式会社J-オイルミルズ 大阪支社	105	キノ運動用品株式会社
43	株式会社ジェイコムウエスト 神戸芦屋局	106	雪印メグミルク株式会社
44	株式会社JTБ 神戸支店	107	reoblige株式会社
45	シスメックス株式会社	108	国立研究開発法人 理化学研究所
46	シミックホールディングス株式会社	109	株式会社ラスイート
47	株式会社ジャパンフロントファーム	110	株式会社リンクアンドコミュニケーション
48	松竹株式会社	111	株式会社リンケージ
49	松竹芸能株式会社	112	株式会社ルネサンス
50	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	113	株式会社ロック・フィールド
51	シルタス株式会社	114	株式会社ワールド
52	ジンマー・バイオメット	115	株式会社ワールドアンバー
53	株式会社スズケン 神戸支店	116	CoBe-Tech株式会社
54	スポーツデータバンク株式会社	117	MightyNeo株式会社
55	スミス・アンド・ニュー株式会社	118	株式会社神明
56	住友生命保険相互会社 神戸支社	119	サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社
57	株式会社スリークリエイト	120	一般社団法人日本スポーツサポート機構
58	生活協同組合コープこうべ 商品検査センター	121	田辺三菱製薬株式会社
59	株式会社セラビット	122	ロングライフホールディング株式会社
60	Zero Realize	123	株式会社ラウレア
61	株式会社 ダイエー神戸三宮店	124	エーテンラボ株式会社
62	株式会社タニタヘルスリンク	125	株式会社W
63	WHO神戸センター	126	医療法人川崎病院